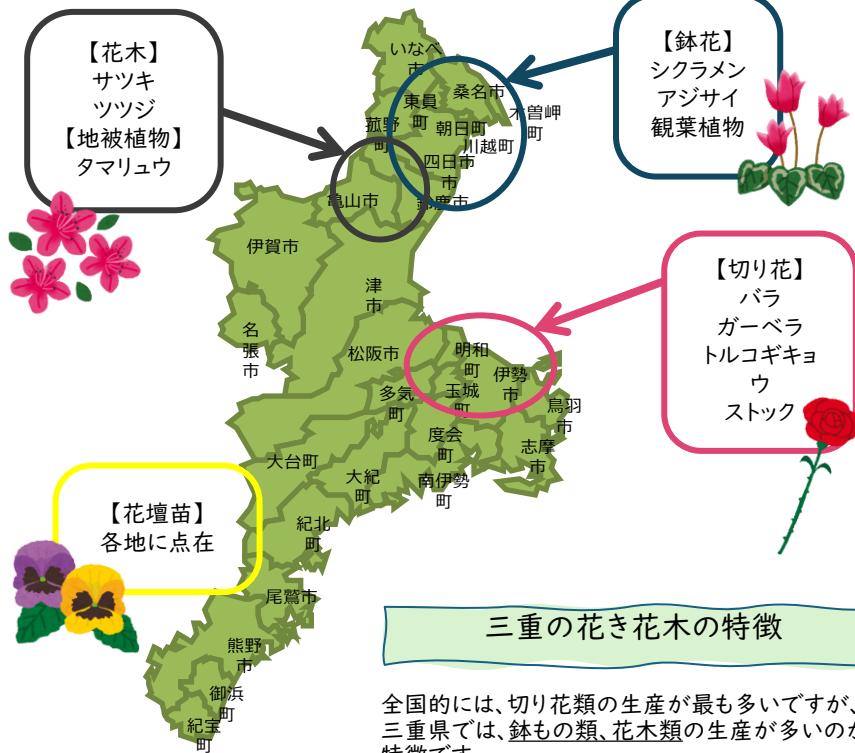


三重の花き花木

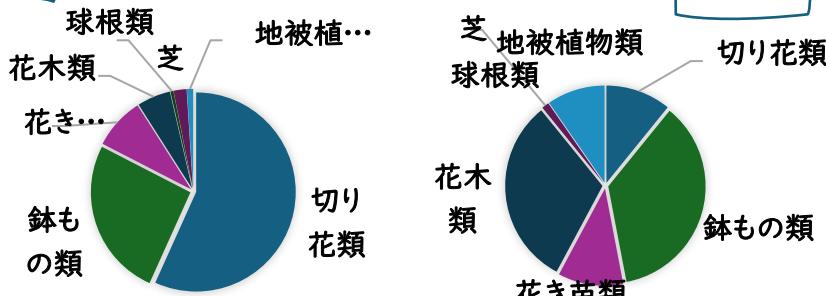
主な産地



三重の花き花木の特徴

全国的には、切り花類の生産が最も多いですが、三重県では、鉢もの類、花木類の生産が多いのが特徴です。

三重県



【切り花】バラ / ガーベラ / トルコギキョウ / カーネーション / キク等

- ・伊勢志摩地域では、温暖な気候を生かして、バラ、ガーベラ、カーネーション、トルコギキョウ、キクの生産が盛んで、県内を代表する切り花産地となっています。
- ・特にバラは、品質が良く「伊勢バラ」としてブランド化されています。
- ・松阪地域では、古くからストックの栽培が行われています。



伊勢バラ



ガーベラ



カーネーション



トルコギキョウ



キク

【花木】サツキ / ツツジ / オタフクナンテン
【地被植物】タマリュウ(ジャノヒゲ類)

- ・三重県は有数の植木産地で、サツキ、ツツジ、及びタマリュウ(ジャノヒゲ類)の生産量は全国1位です。
- ・生産地は、主に鈴鹿・津地域で、最近は、オタフクナンテンの需要が多くなり、県内の生産者数が増えています。



サツキ



ツツジ



ゴールドクレスト



タマリュウ



芝桜

【鉢もの類】シクラメン / アジサイ / 観葉植物

- ・桑名、四日市、鈴鹿地域を中心に生産が盛んです。
- ・他にも、ボトルカルチャー、多肉植物を使ったユニークな商品など、個性あふれる多様な観葉植物が生産されています。



アンスリウム



ドラセナ類



多肉植物を使った商品



ボトルカルチャー

【花壇苗】マリーコールド / ペチュニア / ベコニア / ニチニチソウ等

